

刊夕日十二月四

常磐每日新聞

定価 一部全紙 一月五拾五圓 郵費五圓
 廣告料 五號十二字 日一行金五拾圓
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

平町を觀る (3)

山口彌一郎

この臺地は平町に重要な役割を有つばかりでなく色々の意味の研究に興味深い。どうして臺地が出来たかを考へる事は困難であるが鐘撞堂の下に立つて二〇米餘の崖を見上げるとその中頃に水平な合せ目がある下部には斜な層があるにも拘らず上部は水平で粘土や砂や礫等の川底に堆積した土砂の層に似てゐるのを知

る。これは臺地の成因を知る鍵である。下部は附近の平窪や、谷川瀬等に見る山と同じで數萬年前に淺い海底であつたものらしく、當時海中に棲息してゐた貝類が化石となつてゐる。丹後澤の東の堀割や鐘撞堂の下、松ヶ岡公園等にも多數採集出来るので古を偲ぶのに適はしい。

上部の粘土、砂、礫等の地層は臺地の各所で厚みも種類も異なり、海に住んだ貝らしい化石は見つけられない。それでこの附近が特に低く河床になつた事があるか、それとも古代の夏井川、好間川が堰き止められて湖の様になり、その底に堆積したものではないかと思はれる。胡摩澤の東崖

の様な奇麗な砂や小砂利の様にも見え鐘樓の下等に見る粘土は湖沼の底の様でもある。下部の方は殆んど地下水を透さないが上部は出来たのも新しいし、ざらざらした土砂が多いので雨水を滲透する。

常磐文藝

春夜 (童謡)

飯村 閑舟

春夜 うかんだ
 まんまる月は
 ペンペン、ペ草に
 ほしえんだ
 さつさら櫻に
 ほしえんだ

春のお月さま
 こつくりこくり
 雲にかくれて
 むねむりだ
 ぼつかり ぼつかり
 むねむりだ

うつかり僕らも
 ねむくなる
 かんから かすかな
 鐘が鳴る
 カラカラ雨戸の
 音がする

この境面に清水の湧き出るのを見ることが出来る。物見ヶ岡北の崖、鐘樓の下、胡摩澤の東崖等を注意するとそれらの興味多い現象を

櫻花の季節になりました
 お花見には是非……
夜更の打詰
 時節柄價格低廉
 奉仕的勉強
 平町一丁目
天孫寅
 電話一四一番

外科
 X光線科
 性病科
 外科
 入院隨意

平町田町
安齊外科醫院
 電話四七五番

御贈答に
 記念品に
 諸景品に
漆器を!!!
 誠實勉強
 親切第一
 在庫豊富

是非御用命を
 ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
 ル、又リモノミセ
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
 各産産漆器
 専門卸小賣
(共) 漆器店
 店員募集 十三才位 小 店員
 三十才迄位 外 交 員

中村齒科醫院
 平町 鍛町 七

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番



吸入用酸素 純度 99%
 体温器
 寒暖計
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局
 電話四〇番

平新川町十九
木村病院
 電話一六四番
 産婦人科 院長 木村寅次郎
 婦人科
 内臓外科 醫學士 内 木 宗 八
 整形外科
 器泌尿科

家政婦
 御申込 早速お手傳ひに
 料金は極めて低廉です
 平町紺屋町二(電呼六五二)
上原家政婦會

けふ納税表彰

併せて自治功勞者を

平町納税組合表彰式は既記の如く本日前十一時より町會議事室に於いて舉行、酒井助役の擧式の辭に始ま

青沼町長 詔書を捧讀し夫々表彰状を授與したが特に席上自治功勞者として永年に亘り町の衛生方面に貢献せる醫師矢吹大輔氏、汚物掃除の金成國雅氏を併せて表彰、唯野稅務署長の納税奨勵に關する適切な講演あつて町議佐々木龍若氏が來賓を代表祝辭を述べ受賞者總代として根本品藏、矢吹大輔兩氏が答辭を述べ閉式後松ヶ岡公園に於いて觀禮會を催した

茲に本日を期し本町第十九回納税組合並に自治功勞者表彰式を擧ぐるに方り來賓各位の御臨席を煩はしました事は最も光榮とする所であります今回の表彰は昭和七年度の完納組合にのみ適用したのでありまして其組合九十一組中十二組は本町納税組合奨勵規定に該當しませんでしたために表彰にあずかる事が出来なかつたのであります今是を大別して見ますと表彰組合中新設組合五組第一回後七十九組合戸數に於て一千六百

三十九戸人員に於て一千六百九十八人の多數になつて居るのであります本町は現在の經濟不況時に際しましても他市町村に比較し稍々良好なる成績を擧げつゝある事は誠に悦とする所でありまして是は要するに組合各位が結束熱心に本町納税の爲めに献身的努力を御拂ひ居らるゝ事と深く信ずると共に平素の勞を多とするものであります如斯き美風は一面本町の爲め將又國家の爲め誠に喜に堪へないのであります抑も

納税組合の理想は組合員協力一致團結して指定期限内に全部完納する事によつて其目的を達する事と思ふのであります假りに一步を誤り指定法定納税期にも納まらず督促滞りなれば所期の目的に反する事になるのでありますから不況時代と雖も各位は常に組合の趣旨を重んじ一層努力組合發展の爲めに御活動あられん事を切望致すのであります

無料診療車の取扱患者八千

病氣は胃病が最多

喜ぶ醫者なし村

平町駐在濱三郡を受持つ無料診療自動車班員が昨年度に於いて取扱つた患者數は男三千五百廿二名、女四千二百六十七名、計七千七百八十九名の多數に及んで醫者無し村の患者を喜ばした病氣は殆んど胃腸病が多くとらホーム鼻等の患者も相當つたと

平町の生産高

生系の生産高 總額五百餘圓

平町役場で最近調査した昨年中に平町で生産された絹及び人絹織物高を見ると縮緬が五十六反で賣上が四百三十六圓、銘仙織が廿三反で

八十圓其他が三十圓の賣上を見總額五百四十六圓に達して居る

共同出荷協議

石城郡澤渡村養蠶實行組合總會は廿四日午前十時より同村小學校に開會春繭市場への共同出荷に就いて打合をなす筈である

固定ネット着工

平商記念日までに竣成

既報平商友會が母校創立の滿二十週年記念として母校に寄贈する事になつた野球用固定ネットは来る五月十日の記念日迄竣成の豫定で愈々今廿日諸橋久太郎氏請負、平保線區助役入村正雄氏設計監督の下に工事に着手した、尚同校野球部では五月十二日午後一時から同校球場で新設ネット開きを兼ね磐中野球部と對戦する事になつた

海兵入團

卅日平出發

濱三郡下各町村より本年度海軍志願兵の採用者は五月一日各々横須賀海兵團に入團する爲め本月廿九日全部平町役場に集合一泊の上翌卅日午前七時廿五分平驛發列車にて出發すると

平映畫界

は来る五月三、四の兩日會津中學校に於て開かれる縣下中等學校配屬將校會議に出席すると

模範女工表彰

磐城製絲の五女工さん

磐城片倉製絲工場従業員白石サクヨ、我妻きくを、我妻あさい、平間文子、松野とめ子の五名は明廿一日郡山市公會堂に於いて開會される縣下製絲業組合總會の席上模範工場従業員として表彰される事になつた

配屬將校會議

磐城中等學校配屬將校大井川少佐

平町人事

回出生

△二丁目四 小倉保氏長女 千鶴子

回婚

△二丁目四 小倉保氏(三六) 栃木縣河内郡富屋村 宇徳次郎八四 半上野ヲシチ(二七)

△搔龜小路一 松本照男氏 (二六) 茨城縣那珂郡木崎村大字門部一七 會澤千代(二五)

外科專門
花柳病專門
木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九番
入院自炊の便あり

銘酒生長
今般三丁目通り
芹澤タクシーの隣へ
移轉致しました何卒宜しく
お願ひ致します
電話六六二三番
磐崎屋支店
小野信一郎

酒場戦線異狀あり
歐風料理開店のお知らせ
A、新進のユックが腕試しの料理
B、三三年平町カフェー界の尖端に起つ
C、美給の精一ツ杯なサーブス
★女給十數名★
カフェー太陽
平町三丁目川岸

小兒科。内科
特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。
平町 ねずみ坂
渡邊醫院
電話一六一番

歡樂渦卷く

櫻の不夜城

今絶頂の松ヶ岡

人波に埋る……

雪洞、岐阜提灯に彩られた松ヶ岡公園の櫻も二、三日來の暖かさで今が見頃の絶頂七、八分の咲を見せせてゐる昨十九日は平署管内の消防大會で三千六百餘の大群集が雪崩れ込んだのを筆頭に磐城製絲工場の女工さん連四百八十餘等々此の他各地からの入出で早朝來滿山人で埋る程の盛況、今廿日は内郷村小學生の一團七百餘名が遠足がてらのお花見町内納税組合の幹部聯合等此れまた前日に劣らない人

出に公園一帯は人、人、人の波だ、黄色い聲で客を呼んでゐる腰掛茶屋の姐さん三味線抱えた新田町花街の綺麗所ろの揃衣装姿まではち切れそうに元氣に満ちてゐる。流石インフレ時代にふさはしいお花見景氣、此處數年來見られなかつた素晴しさだ、櫻花も二十三日の土曜日から二十三日の日曜にかけて絶頂の満開だらうと觀られ當日の人も今から豫想される

国道を通行中の

老爺を轢逃げ

悪徳運轉手を

平署で嚴探中

石城郡内郷村大字綴字秋山居住永久保政吉(五〇)は昨夜午後八時頃同村字金谷地内国道を通行中前方から疾走して來た自動車に轢倒され頭部其他に瀕死の重傷を負ひ目下平南町上田外科醫院に入院加療中であるが自動車は其儘何れへか逃走したので平警察署では目下轢逃げ自動車の捜査中

裁判所だより

△平町字田町六十二番地高橋竹四郎(三三)南町四十九番地吉田政吉(三三)大館二十一番地今井一(三〇)新川町三十一番地藤本太郎(三三)南町六番地阿部秀寧(四四)五丁目十二番地齊藤惣太郎(三三)の六名は五日午前九時頃右竹四郎方に於て花札を使用し

世は春!

看護婦と収入役

戀の道行

平町某看護婦會看護婦江尻ワカ(三三)は去る八日より行衛を晦したが同人は昨年未より茨城縣關本村収入役鈴木唯一(三三)と云ふ妻子ある男と戀になり本月七日兩名は新世帯を持つ爲め行衛を晦したもので前記収入役の鈴木は村金庫の鍵を持つた

明日の部

- 前六、〇〇 小鳥の春 淺草公園淺草寺庭園より中繼
- 前六、三〇 基礎英語講座 (一〇)岡倉由三郎
- 前九、二〇 料理献立「淺蜆のカレーライス」朝倉長吉
- 前一〇、三〇 家庭講座 後二、〇〇五 箏曲俚謠
- 後二、〇〇 家庭大學講座 「經濟學とは何んぞや」東京帝大教授岡田忠男

茨城から

團體觀櫻

南中郷の 百五十名が 茨城縣多賀郡南中郷關係者百五十名の觀櫻會は來る廿三日午後四時より松ヶ岡公園に於いて行はれる

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

鯉漁期近し

磐城丸の通信に

勇躍する郡下各濱

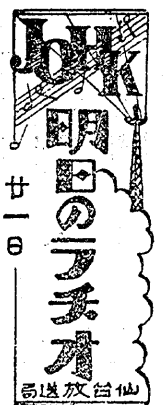
石城郡小名濱、江名町等の遠洋漁船は過般來鯉漁獲の準備中であるが最近漁場調査の爲め出帆した磐城丸の通信によると目下の鯉漁場は八丈島附近沖合で漁獲物の陸上困難な箇所なので來月中旬頃より鯉群の北上するのを待つて郡下各濱船は一齊に出帆すべく準備を急いで居り各濱は俄然活氣溢

坑夫上りの

泥的御用

郡山を荒し

石城郡湯本町字八仙居住坑夫山崎方同居人郡山市堂ノ前生れ無職佐藤有三郎(三三)は昨年中郡山市内各商店で十數件の窃盜引等を働い



今晚は北東の風雨 明日は北東の風曇り次第に快復いたします

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 お話「傳書鳩」田川潤一郎
- 後七、三〇 時事講演「世界經濟會議を前にして不況征服の國際十字軍」二飯島播司

- 後八、〇〇 歌謡曲
- 後八、三〇 東明流 東明 敬舟外
- 後八、五〇 連續講演「後の宮本」第四席 大島伯鷄
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

命令を以て處分された

△郡山市字柳内百二十二番地大工佐藤有三郎(三三)が昨年十月頃郡山市洋服店龜屋より帽子を窃取した外七ヶ所より合計五十餘圓の窃盜を働き平町に入込んだ所を逮捕された窃盜事件の公判は昨日午後一時より平區裁判所に於て關口判事係、三堀檢察立會の下に開廷檢察求刑の懲役五ヶ月判事より即決懲役五ヶ月を言渡された

各校體格検査

平南 業學校、第一、二、三各小學校にては廿日より本年度の體格検査を開始した

平職業紹介報告所

回人を求める方

- △土工夫 五十迄 日給五十錢外面談(安達郡某)
- △鐵工見習 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)
- △農夫 三十迄 月七八圓 外面談(江名町某)
- △女中 五十才 月五六圓 委細面談(箕輪村某)
- 回職を求める方
- △給仕 十五才 商業半退

- 後二、三〇 運動競技「東京大學野球聯盟リーグ戦試合状況」明治外苑野球場より中繼
- 後六、〇〇 子供の時間 管絃樂 二高スモールオーケストラ
- 後六、二五 趣味講座「櫻に就て」阿部忠一
- 後七、〇〇 講演「演藝の今昔」大谷竹次郎
- 後八、〇〇 清元
- 後八、五〇 連續講演「後の宮本終席」大島伯鷄
- 後九、五〇 日本棋院春季大手合戦績ニユース

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫

第三百十九號

佐々木見山

太鼓と共に愈々試合

佐々木寅之助見山は門人中村と共に馬場に來ました、時に三月十五日城外にある櫻は今を盛りと花をつけてゐるソヨ／＼と吹く風に顔を撫られた見山

佐「風がいたづらをして居るイヤ渡邊松崎も參つて居るか」
と云つたが渡邊金彌に松崎采女も今日の試合が氣になるから出張してゐる松「先生こちらにて御休息遊ばせ」

幕張内へ案内した、スルト向ふの床几に腰を卸して居るは菊地大六若黨の田口清助と草履取が付き添居る佐「これは、菊地先生今日は御苦勞に存じ殿様の御意辭し難く貴公と今日は勝負を争ふこれは甚だ不本意な事でごさるがお互に劍術指南をいたし居れば作病をかまへてこれを選けるは卑怯よんどころなくお相手を致す運よく拙者が勝を得ればとてお怨み下さるナ」大「これはしたり得物を取つて争ふ上は勝敗の決するは當然打負ればとて遺恨をいだく處はございませぬ己れが未熟ゆゑとあきらめて



一層修行仕る」
佐「えらいナ失禮ながらその御一言は實に立派なものれば御門下となつて教へを受けるでござらう」
大「左様か貴殿が負た時は

か俺に負たならば弟子になるさうだこれは出来がたい事だ、當家の普代にしてしかも指南役を勤めて多くの人々に先生と尊敬されるその地位を棄て、浪人分たる俺の門人にならうとはえらいナ人はかう行きたいものだ、貴様達と菊地どのとは同門だ仲よくいたせ」
これを聞いた大六が
大「アイヤ佐々木先生それは手前が試合に負ての事でごさる」
佐「左様々々これは甚だ失禮」
などと云つて笑つてゐる

手前の弟子になられるか」
佐「御意にございます」
大「それは面白い手前が打負た節は貴殿の門下となつて御指南を受けるでござらう」
佐「イヤえらい益々感服いたしました、これ中村松崎渡邊菊地どの、申す事を聞いた

菊地は怒つてゐますところへ殿様がお出でになつたとの知らせに佐々木見山が幕をかゝけて見ると正面の棧敷に近侍を従へて有馬玄蕃頭侯が控へられた後には金屏風が立て廻して中央をかゝけて真紅の房の、さし笹にてくゝしあるその下棧敷

には家老吉田織部其の他留守居役或は目附など身分ある者がゾーツと居流れてゐる、その下には清き蓆を敷きそれにて見物致すは家中の若侍何れも上下着用これを見廻した佐々木が
佐「大層列んだナ皆肩衣を付けて居るから蝶が羽を開いたやうだ立派だナ役にも立たぬ人々をよくこれだけ養ひ置くすがは大名敬服いたしました」
と云つたが之でははめたのか悪く云つたのかわからないドン／＼と打出したかゝり太鼓試合が始まるといふ知らせ鳴り物の内でも太鼓は陽氣ですそれに引替へ鏡は陰氣で音する刻を知らせる鐘の陰なものですまして夜に入ると一層淋しいポーンと鳴るかふいふ時は口を少し閉めてポーン夜明けの鐘を聞かせるときは口をあけてゴーンといふ何も講釋などの型を申し上げるには及ばないが序にお話し申しておきます、鐘とは違ひ太鼓はドン／＼／＼とその音は膽に響きわたるちよつとした事でもあの店は客がドン／＼押寄せるといふ頗る景氣がよい、それに引替へあすこは近頃客が見えないがもう此頃には身代はおデヤンであらうなどといふデヤンといふは叩き鐘の音です、さてこのかゝり太鼓と共に佐々木寅之助見山に菊地大六は幕を絞つてそれへ出るとドーンと聲が揚がつた、やがて二人は棧敷に居らるゝ殿様に向ひう

平町二丁目

三井タクシ

電話六八五番

平町南町

看護婦急派

の求めに應じます

電話三〇七番

やく／＼しく頭をさげバット左右に分れました

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番

申込次第(規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

お花見折詰

御重入辨當

せ印

せせせ會堂

平二(電六三三番)

例年の通り魚清自慢の特製みつ豆 八錢

始めました

お花見のお歸りには是非お立寄を！

特賣品を(一名)朗折詰で御一人前 五十五錢

立献詰折朗

魚	七品
すし	七品
銘酒	五品
サカツキ	一本
花カンザシ	一本
お土産品	一本

◇百個以上は特に御相談に應じます

外に 魚折詰 二十錢ヨリ

すし折詰 二十錢ヨリ